

2017年4月3日

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州グアルーリョス市

「グアルーリョス高齢者ホーム改修計画」に係る

草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

去る3月29日(水)午前9時より、「グアルーリョス高齢者ホーム改修計画」に係るアシステ
ンシア・ソシアル・ドン・ジョゼー・ガスパール(社会福祉法人救済会・憩いの園)への我が国
の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式が行われました。式典には中前隆博/在
サンパウロ日本国総領事、佐藤直/社会福祉法人救済会会長他来賓や入居者など約90人
が出席しました。

会場: Assistência Social Dom José Gaspar – Ikoi-no-Sono

住所: Rua Jardim de Repouso São Francisco, 881- Parque Maria Helena

電話番号: (11)2480-1122

来賓の挨拶:

中前隆博総領事

「本日はお招き頂きましてありがとうございます。私はこの憩いの園を何度かお邪魔させて頂き
ました。その度に皆様方がこれまで様々な御苦労を経験されながら、御家族のため、日本と
ブラジルの友好のため、ブラジルの発展のために、一生懸命働いてこられたことを思わずに
はられません。皆様にお会いする度に私はそれぞれの人生に感謝そして尊敬の念を覚え
ます。

1958年に憩いの園がこの土地に建設されたと伺いました。この施設は来年60周年を迎え
ることになります。この長い年月、日系の方々の福祉のために尽くしてこられた歴代の会長の
Consulado Geral do Japão em São Paulo www.sp.br.emb-japan.go.jp (11) 3254-0100

皆さん、職員・ボランティアの皆さんは、私たちに代わって、ご年配の方々、入居者の方々への感謝の気持ちを形にして下さっているのだと思います。皆さんがいたからこそこのような活動が続けて来られました。敬意そしてお礼を申し上げたいと思います。

今回の資金協力を通じてこの憩の園での皆様の生活が少しでも良くなり、快適に暮らして頂けるようお手伝いを私共なりにすることが出来ましたことは、一人の日本人又一人の公務員として大変嬉しく光栄に思います。この気持ちは総領事館の職員、日本の国民の気持でもあると思います。どうかこれからもお体を大事にされて御元気に暮らして頂けるよう心から願っております。」と祝辞を述べました。

佐藤直会長

「グアルーリョス高齢者ホーム改修計画実現における、日本国民のこの素晴らしい御厚意に感謝申し上げます。日本と憩の園の関係は古く、その中で私共は光栄にも、天皇皇后両陛下を始め、紀宮清子内親王、秋篠宮同妃両殿下という皇室の方々、又最近では安倍昭恵総理婦人の御来訪をお迎えすることができました。憩の園と日本の協力関係はこの建物の建設のための最初の寄付を受けた1990年に遡ります。また1992年以来、我々は、日本の国際協力機構を通じ、必要とする様々な分野におけるボランティア、専門家の方々の派遣を受けております。私は、憩の園の成功に御協力下さっている日本の国民の皆様、日本政府、日本国総領事館に感謝申し上げます」と謝辞を述べました。

入居者を代表してムカイワキ・タミコさん(85歳)から

「私たちの家をきれいにして頂いてありがとうございます。自分はとても喜んでいきます。」と日本国民に対する心のこもった感謝の言葉がありました。



(開会式)



(グアルーリョス高齢者ホーム関係者)



(草の根プレート序幕)

●上記案件のプロフィール

案件名:「グアルーリョス高齢者ホーム改修計画」

被供与団体:「アシステンシア・ソシアル・ドン・ジョゼー・ガスパール(社会福祉法人救済会・憩いの園)

プロジェクト実施地:サンパウロ州グアルーリョス市

契約書名式日:2016年3月15日

供与額:58,298.00ドル

●案件概要:

「アシステンシア・ソシアル・ドン・ジョゼー・ガスパール(社会福祉法人救済会・憩いの園)」は1953年に設立され、現在は約70名の高齢者の生活サポートを行っています。

高齢者が使用している施設は破損等老朽化が進んでいたため改修を行う必要がありました。

今回の協力は、施設の改修に58,298.00ドルを限度に無償資金協力をを行い、同施設の高齢者の方々の生活をより快適にするものです。

供与品目:高齢者ホームの改修

(問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館経済班

(0xx11)3254-0100